

プーチン：人々は、現状が実はどれほど危険であることを理解していない

【訳者注】引用した読者のコメントが言うように、いつものように、ここでも、プーチンの言葉は理性的で、かつ真正直である。これを、何かを企んでいる、信じられない、などと言う人はいまい——新聞・テレビ以外には！

By RT

June 20, 2016, Information Clearing House



“アメリカがいつごろ、ロシアの核能力を脅かす、新しいミサイルを完成するか、我々は知っている。”

アメリカの、ロシア国境近くに取り付けられつつある、対ミサイル防衛システムは、「目立たぬように」攻撃用兵器へと、すり替えられる可能性がある、とウラジミール・プーチンは警告し、ワシントンが、“年々”そのミサイル計画を進化させていることを、ロシアは知っていると付け加えた。東ヨーロッパにおける NATO の弾道ミサイル防衛システムについて話しながら、ロシア大統領は、アメリカは今、これらの軍事複合基地に彼らのミサイルを配備しつつあると指摘した。

「このミサイルは、海上に置かれるトマホーク・ミサイルの、発射に使われるカプセルの中に挿入される。現在、彼らはそこに、距離 500 キロメートルまでの標的を狙うことのできる対ミサイル弾を入れている。しかし今、技術が発達して、アメリカが、500 キロでなく 1000 キロかそれ以上の射程をもつ、新しいミサイルを完成する時期がいつ頃になるか——

そしてその時から彼らは、我々の核能力を脅かし始める——ということが分かっているのだ」と、プーチンは、サンクトペテルブルグ国際経済フォーラムで、金曜日、国際ニュース局の幹部たちとの会議で語った。

「年々、何が起こるかを我々は知っている。そして我々が知っていることを、彼らは知っている」と彼は言い、西側の高官たちは、「(彼らのニュース機関の) 眼に覆いをかぶせており、彼らは彼らで、視聴者に誤報を与えているのだと付け加えた。

ロシア大統領によれば、主たる問題は、現状が潜在的に、実はどれくらい危険であるのかを、人々が理解していないことである。「世界は、完全に新しい次元に引き込まれつつあるのに、ワシントンは、何も起こっていないかのように装っている」と、プーチンは言い、彼の外国の同僚たちにそれをわからせようとしても、無駄なのだ、とつけ加えた。

「ワシントンは、このミサイル装置は、彼らの防衛能力の一部であって、攻撃するものでなく、それは自分たちを侵略から守ることを目指したものだと言っている。これはウソだ」と、プーチンは記者たちに言い、「戦略的弾道ミサイル防衛は、攻撃的戦略能力の一部で、攻撃用ミサイル爆撃装置と連動して機能するものだ」と付け加えた。

「大きな危険」は、防衛ミサイルに使われる同じ発射台が、「ものの数時間で」取り付けられる“トマホーク”ミサイルを、発射するのに使うこともできることだ、とプーチンは説明した。「こうした発射台の中に何が入っているかはわからない。必要なのは、(システムを) リプログラムすることだけで、これは全く目立たない作業なのだ」と彼は言い、これらの NATO の設備が自分の国内に置いてある国家の政府も、こういうことが起こっても、知るべきがないだろう、と付け加えた。

ワシントンは、最初からウソをついており、彼らは弾道ミサイル防衛装置を、“イランの核の脅威”に備えると称して、東に移動させたのだとプーチンは言い、しかし、テヘランの攻撃核能力は、今は存在しないのだ——主としてオバマの関与の結果として——と言った。「だから、なぜ彼らが今になって、ルーマニアに、ミサイル防衛装置を建設したのか疑問だ」と彼は言った。

NATO は、ロシアからの「具体的な」協力の申し出を、拒否し続けていると指摘する一方で、プーチンは、アメリカの政策は、今、「いわゆる戦略的バランス」を危険にさらしている、「これのおかげで、世界はこれまで、大規模な戦争や軍事紛争から安全だったのに」と言った。

ワシントンは、一方的に、1972年の「対弾道ミサイル条約」から離脱して、「国際的安定に最初の深刻な打撃を与えた」と、プーチン大統領は言った。バランスを保つために、モスクワはそれに応じて、自分自身のミサイル計画を立てざるを得なくなり、アメリカは2000年代初めにそれに合意したが、その時期、ロシアは困難な財政状況にあった。

「多分、彼らは、ソビエト時代からの軍備が、そろそろ劣化する時期だと期待していたのだろう」と彼は言った。

「今日、ロシアは、この分野でかなりのところまで到達している。我々はミサイル装置を現代化し、新しい世代の開発に成功している——ミサイル防衛システムだけでなく」と、プーチンは、国際ニュース局たちに話し、これらの動きは対抗措置であって、モスクワがしばしば非難されるように、“攻撃”のためではないと強調した。

「我々の安全保障は、自分自身のためだけではありません。世界全体の戦略的バランスを講ずることが必要です。それがこの惑星上の平和を保障します。…何十年にも及んで地球的な安全保障を必要にしたのは、相互の脅威です」と、プーチンは結んだ。

[最も支持の多い読者のコメント]

ここでも再び、プーチンは理性の声であるだけでなく、真実を語っている。一方、アメリカ政府は、子供のような、現実離れたウソを、次々といっている。